

キャラクター名  
葉月 陽

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン モルフェウス		ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	大学生
	オプショナル		年齢	19歳	性別	男
覚醒	素体	衝動	飢餓	初期侵食率	33	%
出自	父親の不在	経験	長期入院	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	13
感覚	2	1	0		3	6	(非装備時)	15
精神	3	0	0			3	戦闘移動	20
社会	2	0	0			2	全力移動	40

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	4		RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	3		調達	6	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ショットガン	射撃	6r+3	0	5		同一エンゲージ対象には攻撃力+2
ショットガン(強化)	射撃	6r+3	0	11		+水晶の剣(侵食補正なし)
大型拳銃	射撃	6r+2	0	5		マイナーアクション消費で「対象範囲」に変更。1シナリオ1回
大型拳銃(強化)	射撃	6r+2	0	11		+水晶の剣(侵食補正なし)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
シューターズジャケット	購入	3	-1	-2	射撃ダイス+1

所持品	
ショットガン	
大型拳銃	
ウエポンケース	
携帯電話	

合計装甲: 3    合計回避: -1

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
実験体	P	N		
母親	P 憧憬	N 隔意		
支倉 彩菜	P 慈愛	N 憐憫		
桐谷 香子	P 好奇心	N 不信任		
只野 玖	P 信頼	N 憐憫		
"情報屋"	P 遺志	N 悔悟		
"装置と呼ばれた少女"	P 同情	N 脅威		

最大財産P: 16    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: <シンドローム> 組み合わせた判定のC値 - 【ELV】(下限7)								
天性のひらめき	1	4	メジャー	-	-	-	-	
効果: 戦闘中を除き、あらゆる判定のC値 - 【ELV】(下限7)								
マルチウエポン	1	3	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: <白兵> <射撃> 武器2つの攻撃力を合算する								
カスタマイズ	3	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果: <白兵> <射撃> ダイス+ 【ELV】								
クリスタライズ	3	4	メジャー	-	-	対決	100↑	
効果: <シンドローム> 装甲値無視付与、ダメージ+ 【ELV*3】								
水晶の剣	3	4	メジャー	至近	*	自動	-	
効果: 武器ひとつに対して攻撃力+ 【ELV*2】、持続:シナリオ中、1シナリオに3回まで								
生き字引	1	2	メジャー	至近	自身	□	□	
効果: <意志> 情報判定を「意志」で置き換え。ダイス+ 【ELV】								
完全演技	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 完璧な演技を行う。必要なら <知覚> により判定								
写真記憶	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 完全に記憶する。必要な場合 <知覚> により判定								
テクスチャーチェンジ	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 物品の外見を変更する。見破るなら <知覚> 同士の判定								
折り畳み	3	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 【ELV】 個までの物品を紙状に折りたたむ。見破るなら <知覚> 同士の判定								
万能器具	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 日用品を作り出す。必要なら <RC> により判定								
壁抜け	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果: 壁をすり抜ける。必要なら <RC> により判定								

葉月 陽(ハツキ ヨウ)  
19歳、大学生。  
以前はファルスハーツ、そして今はUGNのエージェント。陣営は自分にとって拘るものではない。  
病に倒れた僕を治療するお金なんて、母子家庭にあるはずもない。  
でも、僕は幸運だった——そう思うべきだろう。最先端治療と称してオーヴァードへの覚醒を促されたことも、今、生きていることを言えば。  
どちらの陣営についたって、僕にとっては成り行き任せ。元同僚たちになつて、恨みも同情もありはしない。  
ただ、望むのなら、この胸の孤独を埋められるのならば。

以前はファルスハーツ、今はUGNのエージェント。  
上にとって、そこそこ僕は使い勝手のいい駒らしい。  
いいさ、全うしようじゃないか。自分の役割というやつを。